

# もめる条例化 携帯基地局

## 太宰府からの報告

<1>

携帯電話中継基地局を巡る紛争防止条例の制定が、太宰府市で紛糾している。基地局の電磁波が健康被害をもたらしたとして宮崎県延岡市では撤去を求める裁判も起きている。太宰府の議員提案条例は、健康問題をひとまず置いて、建設計画書の提出や住民説明会の開催を義務化し、紛争を未然防止しようとする。だが、市側は条例ができるまでと基地局の設置が難しくなり住民や観光客の利便性が保証できなくなるなどとして市長が議会の可決に拒否権を発動、再議を求めた。基地局は今後増設が予想され、太宰府に限った問題ではない。関係者にインタビューし、問題の背景を探る。

【勝野昭龍】

—今ある基地局は03年9月の供用開始です。調査をされていますね。

—児童の健康アンケート調査をされています。加代子さん、医師2人も協力してもらい設置を作りました。135人が回答し、教室が3階で基地局の影響を受けやすい4、5年生と自宅が基地局に近

い子ほどイライラや口内炎、めまい、動悸など、息子は口内炎がよくでき、難聴、規律性障害、娘もいつも口内炎に。夫婦にも飛蚊症などが出ています。息

—紛争防止条例は、市長の再議要請で再可決に3分の2以上の賛成が必要となり難しい情勢ですね。

—研究機関が昨年5月、限定的に発がん可能性を認めたので、国も研究を検討すると言っています。市は安全と言

い切っています。市長さんは昨年4月の選挙前までは「市民が困っている時、助けるのが市役所。NTTまで行って、言ってる」と言われていたのに…残念です。

# 見えぬ電磁波に苦慮

初回は、一昨年12月市議会に基地局設置の適正化に関する請願を出し、採択された同市青山1、元小学校PTA会長、笠利毅さん(49)と、妻で九州大学院准教授環境政策、

「環境経済」の加代子さんという市に相談する「地元議員がOKだと」

「まず、中継基地局とのかかりから。署名を集めるしかない、と。2カ月で2560戸にNTTドコモの32人分集まりました。公明党の議員さんが請願の紹介議員になってくださいました。昨年9月にKDDIがその横の美化センターに建設しようとしたのKDDIは建設を断念

「子どもは小学校を卒業すると口内炎が治りました。KDDIの問題が出てから勉強して初めて関連性に気づいたのです。高周波アナライザーで計測しシールドカーテンで電磁波を遮断しています。

## 請願者

「電磁波が倍に

「基地局から約1000の太宰府東小の



シールドカーテン内で高周波アナライザーの測定値を見る笠利さん夫妻。電磁波はゼロだった